

2024年7月25日(木)

2357号 (毎月25日発行) (大阪版)

1950年12月16日第三種郵便物認可

1部160円 月額470円 (郵送料込月額120円)

平和新聞

発行 日本平和委員会

〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル 210号

電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837

E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

自衛隊名簿提供違憲訴訟第1回口頭弁論(奈良地裁)

自衛官の「賭命義務」に衝撃

自衛隊への個人情報提供は憲法違反と、高校生(当時)のRYUさんが原告となる全国初の裁判の第1回口頭弁論が、7月2日奈良地裁で行われました。支援者で傍聴席は満席。原告代理として意見陳述した弁護団長の佐藤真理弁護士は「日本が戦争する国に踏み出そうとする中、憲法十三条の個人の尊重をどこまで大事にするか問われている。プライバシーを侵害するようない方では自衛官募集を行うのは許されない」と述べられました。報告集会では、「自衛官の人権弁護団全国ネットワーク代表の佐藤博文弁護士」の「RYU裁判における自衛隊論」ミニ学習会があり、その内容に衝撃を受けました。

自衛官には賭命義務があるのです。公務の中にはその職務を遂行するうえで生命の危険に直面するものがあります。自衛官には「自らの命を賭けて相手をせん滅(殺傷)する」という武力行使への服従義務があります。これが「賭命義務」です。警察官の職務が、犯人を確保し法の裁きを受けさせることにあり、仮に凶悪犯でも殺傷してはならず、自分の命を犠牲にする義務はないことと比較



佐藤博文弁護士

すると「賭命義務」の意味を理解できます。

最近、自衛隊は、消防や警察、海上保安官、刑務官などの公務員と同じ「公務職」であると宣伝して募集しています。これは、治安や防災などと武力行使の本質を覆い隠すものです。

こうした自衛官という職業の実態について、未成年者は知識も理解力も乏しいことが実際です。自衛隊の実態について、広く国民に知らせる必要を教えられました。第2回口頭弁論は10月8日14時です。

佐藤博文弁護士の

「自衛隊論」学習会

10月8日(火) 18:00

大阪府社会福祉会館

オンライン併用

詳細は後日お知らせします

第2回口頭弁論後、佐藤先生に来て学習会をしていただきます。

主催:大阪平和委員会

7月2日



2024年原水爆禁止国民平和行進

6月30日~7月7日

“核兵器のない世界を”の願いをこめて、行進しました



ロシアによるウクライナ侵略から2年半 ジャーナリスト・加藤直樹さんと考える
いま、侵略に抵抗するウクライナ市民とどう連帯するか？

とき:8月21日(水)18:30~20:30

オンライン視聴可能 オンライン参加は無料

申し込みは右記 二次元コードから

主催:日本平和委員会





7月7日 戦争準備の日米合同演習反対あいはの大集会
ふるさとをアメリカ軍に使わせない!

日米合同演習があいは野で行われる時には3か月前に通達、2か月前には詳細を説明、住民への説明会開催を求めていたにもかかわらず、直近の6月21日になって、陸上自衛隊幕僚幹部が陸上自衛隊と米陸軍の実動訓練(オリエント・シールド24)を7月18日から7月26日(9日間)を実施すると発表しました。

岸田首相が4月に、バイデン米大統領と日米首脳会談を行い、米軍・自衛隊の指揮統制の枠組みの強化、米英豪の枠組みへの軍事力強化明記した共同声明を発表しました。今回のあいは野での日米合同訓練はその一環であり、日米が一体となって平時から有事までスムーズな軍事作戦を可能にする指揮統制強化であり、日米同盟の歴史的変質です。

「ふるさとをアメリカ軍に使わせない滋賀県連絡会」の急な呼びかけでしたが7月7日(日)13時に近江今津駅の住吉公園に330名が結集し、合同演習反対抗議集会とデモを行いました。

大阪からは安保、AALA、うたごえ、平和委員会から9名参加しました。集会では新婦人のみなさんによる「人間を返せ」「頑張ろう」などの



歌声ではじまり、現地からの経過報告、日本共産党穀田議員からの特別報告がありました。

参加者からの発言として地元高島市の女性、大阪安保、集会宣言、行動提起が行われ、最後に「日米合同演習反対、人殺しの訓練はやめろ、憲法9条守れ、いのちを守れ、こどもを守れ」とコールしながらデモを行いました。

参加者の声
・暑かったけど参加できてよかった。のどかで緑の田園風景のあいは野で実弾演習を行うことは絶対許されない。

・今回の沖縄での少女暴行事件、そして事件を隠ぺいしていた日本政府に怒りがわいてくる。絶対許せない!

・おかしいことはおかしいと声に出す、行動をするなど、人として当然のことをやり続けたい!

呼びかけてくださった地元のみなさん、お世話になりました。ありがとう。(天王寺平和通信から)

平和外交シンポジウム

～国連憲章と憲法を生かした日本外交を～
7月14日(日)99名参加 オンライン33か所



7月14日、大阪革新懇・大阪

AALA・大阪平和委員会の共催で、平和外交シンポジウムを開催しました。パネリストの立命館大学教授の君島東彦教授から「軍事的抑止」ではなく「共通の安全保障を」。日本共産党笠井衆議院議員から「東アジアの平和構築への提言」についての発言があった。フロアから市民レベルの交流の報告として「東アジア青少年歴史キャンプ」と「民医連での韓国緑色病院との交流についての発言があった。とても難解だけど中身の濃いシンポジウムだった。

平和とは複数当事者間の「関係性の概念」。常に相手がいる。相手に対する不信感、恐怖を制御するのは軍備ではなく、相手との関係構築、すなわち外交である。このことがストーンと落ちた。

【8月の行事案内】

- 3日(土)～4日(日) 堺平和のための戦争展
- 4日(日)～6日(火) 原水爆禁止世界大会-広島
- 6日(火) からほりピースフェスタ
- 8日(木)～9日(金) 原水爆禁止世界大会-長崎
- 9日(金) 9の日宣伝 17:00～ 淀屋橋
映画「福田村上映会」①10:00 ②14:00③18:20
大阪市立阿倍野区民センター (問) 大阪映画センター
- 10日(土) 大阪公立大学生に大学の軍事研究についての学習会 14:00
- 15日(木) 沖縄連帯行動 12:00～ 上本町六丁目交差点
- 21日(水) いま、侵略に抵抗するウクライナ市民とどう連帯するか?
18:30～20:30 オンライン
- 29日(木) 映画「福田村上映会」①10:00 ②14:00
四条畷市市民総合センター
- 30日(金) 映画「福田村上映会」①10:00 ②14:00
河内長野市立文化会館・ラブリーホール小ホール
福田村上映会の問い合わせは(株)大阪映画センター06-6719-2233

今月の一冊

異様! テレビの自衛隊迎合

元テレビマンの覚書

著者:加藤 久晴 新日本出版社 1,800円

7月に発足70年を迎えた自衛隊。専守防衛から海外で戦争できる軍隊へとその姿を変えつつある。テレビでも、自衛隊を賛美するバラエティ、ドラマなどが増えているそう。芸能人を使って、最新鋭の装備や訓練、営内の様子などが無批判に流されていることに戦慄が走る。筆者は、変質する自衛隊の姿を正当化し、防衛予算の大増額を納得させる世論づくりだと強調している。何の疑問も持たず、自衛隊ヨイショの番組を作ることは、公共性の求められるテレビのやること?さらに、筆者は、番組政策の場に報道・表現の自由がないことも指摘している。深夜には、良心的な優れた番組が放映されていることも。「テレビは観ないから」などと言ってる場合ではない。